

「オールおかやま」商工会マルシェ in きびプラザが開催されました。

10月19日(土)、20日(日)の2日間にわたり「オールおかやま」商工会マルシェが開催されました。今回は、瀬戸内海国立公園指定90周年「岡山×香川」つながる食の大博覧会」との同時開催となりました。



ふじた傳三郎太鼓の圧巻のパフォーマンスでオープニングが始まり、主催者を代表して岡山県商工会連合会田村会長が挨拶をされました。

ステージでは「それいけ!アンパンマンショー」が行われ、家族連れの子供たちが歓喜。他にも岡山商科大学附属高等学校書道部による書道パフォーマンスやフィーカサックスアンサンブル、地元に加賀中学校吹奏楽部による演奏などがあり来場者を楽しませていました。



本マルシェでは岡山県内全域から自慢の当地グルメや特産品が集結。キッチンカーや学生の出展も含め全62ブースが出展しました。真庭からも8事業所が出展し、いずれも自慢の魅力商品を販売。来場者から美味しいと好評でした。

初日は、あいにくの雨となり来場者も少し疎らでしたが、2日目は曇り空の中、来場者も多く大盛況となりました。



「オールおかやま」商工会マルシェ 出展者(真庭)

地区	出展者名	主な販売商品
新庄	MIFUNE-YA	ひめのもちクレープ
勝山	かびばらこーひー	コーヒー、レモンコーヒー
久世	彩彩台湾	魯肉飯、台湾フルーツドリンク
勝山	麺やせーじ	ラーメン
勝山	oyatsuya komugi	キャロットケーキ、プリン
湯原	下湯原温泉 ひまわり館	GBAバーガー
美甘	しいたけレストラン	しいたけ唐揚げ、とり唐揚げ
勝山	gajumaru チーズケーキの小さなお店	チーズケーキ各種





決算書の読み方のポイント



田中 久展
中小企業診断士

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、景気がコロナ禍から回復しつつあるとはいえ、業種、企業規模、地域、そして各国政府の経済対策など、多くの要因によってその実感は大きく異なっています。特に地方都市で事業規模が大きい事業者にとっては一概に「回復した」とは言えず、段階的かつ不均一な回復過程にあります。さらに近年では原材料高騰と政府による賃上げ政策に見舞われましたが、皆様の企業は厳しい事業環境の中、力強く乗り越えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

さて、新年を迎え、新たな戦略を立案する時期となりました。皆様は、どのような展望を描かれていますか？ 大胆な事業拡大でしょうか？ 堅実な経営基盤の強化でしょうか？ どのような戦略も、その根拠となるのは「事実」です。そして、企業の実事を最も明確に示すのが、紛れもなく「決算書」です。

決算書は単なる数字の羅列ではありません。そこには、社員の努力の結晶、市場の反応、競合他社の動向、そして、貴社の強みと弱みが凝縮されています。例えば、損益計算書の利益率の変化からコスト構造の問題点を探り、貸借対照表から資金繰りのリスクを把握することができます。これらを理解することで、次の2つの大きなメリットが生まれます。

I. 戦略立案の精度向上

決算書（損益計算書）を分析することで、自社の現状を正確に把握し、強みを活かし、弱みを克服する戦略を立てることができます。曖昧な感覚ではなく、データに基づいた意思決定が可能になります。特に上述のように、急激なコスト高騰の事業環境では、自社の「粗利額」と「粗利率」に注目し、その推移を把握するようにしてください。

■ **粗利額**（決算書上では「売上高総利益」に相当
注：製造業、建設業では異なります）

定義：売上高から売上原価を差し引いた金額。簡単に言えば、製品やサービスを販売することで得られた売上高から、その製品やサービスを作るために直接かかった費用を差し引いた利益です。

計算式：粗利額 = 売上高 - 売上原価

意味：企業が製品やサービスの製造・販売によって得た、最も基本的な利益を示します。粗利額が大きければ大きいほど、製品やサービスの販売から直接得られる利益が多いことを意味します。

例：売上高が 1000 万円、売上原価が 600 万円の場合、粗利額は 400 万円となります。

■ **粗利率**

定義：粗利額を売上高で割った割合。百分率 (%) で表されることが多いです。

計算式：粗利率 = (粗利額 ÷ 売上高) × 100%

意味：売上高 100 円に対してどれだけ粗利を得ているかを示す指標です。粗利率が高いほど、売上高に対する粗利の割合が高く、収益性が良いと判断できます。

例：上記の例（売上高 1000 万円、粗利額 400 万円）の場合、粗利率は (400 万円 ÷ 1000 万円) × 100% = 40% となります。

業種によって標準的な粗利率は異なるため、同業他社と比較することで、自社の収益性を客観的に評価することができます。

ここで一步踏み込んで「価格転嫁」について考えてみましょう。

右記の例の事業者が、中小企業の代替の目安である営業利益率（本業での儲けの率）5%、労働分配率（粗利額に占める人件費の割合）50%として損益計算書を作成してみます。（以下、単位：万円）

	金額	比率
売上高	1,000	100.0%
売上原価	600	60.0%
粗利額	400	40.0%
人件費	200	20.0%
その他経費	150	15.0%
営業利益	50	5.0%

この事業者が、令和 6 年の中小企業の賃上げ率 4.50%（日本経済新聞、2024 年 3 月 22 日より）と、国内企業物価指数前年比 2.8% 上昇（日本銀行、2024 年 9 月分より）を価格転嫁できなかった場合、どうなるでしょう。

	金額	比率
売上高	1,000	100.0%
売上原価	616.8	61.7%
粗利額	383.2	38.3%
人件費	209	20.9%
その他経費	154.2	15.4%
営業利益	20	2.0%

一気に営業利益が 20 万円に減少し、営業利益率は 5% から 2% に低下します。同じ条件で価格転嫁がもう一年遅れたら、赤字に転落してしまいます。

	金額	比率
売上高	1,000	100.0%
売上原価	634.07	63.4%
粗利額	365.93	36.6%
人件費	219.45	21.9%
その他経費	158.52	15.9%
営業利益	-12.04	-1.2%

上記の事例では粗利率が 40% ⇒ 38.3% ⇒ 36.6% と低下しており、価格転嫁が実施されないと顕著に現れます。さらに売上原価以外の企業の維持費（人件費 + その他経費）の上昇分をカバーできる粗利額が必要です。

売上高の大きさを追求するのはもちろんですが、粗利額と粗利率にこだわる一年にしてみてもいいでしょうか？

II. 早期リスク発見と対応

決算書（貸借対照表）の数字を細かく分析することで、潜在的なリスクを早期に発見することができます。例えば、売掛金の増加、在庫の増加などは、資金繰り悪化や不良債権増加の可能性を示唆しています。早期発見は、適切な対策を講じる時間を与え、大きな損失を防ぐことに繋がります。例えば売掛金の回収条件が翌月（30 日）であるのに月商より多い場合は、合理的な要因があるかどうかをチェックします。

多くの経営者の方々は、決算書を顧問の税理士に任せてしまいがちです。もちろん、会計処理の正確性確保は税理士の重要な役割です。しかし、経営者ご自身が決算書を読み解き、その数字の背景にある「物語」を理解することは、企業の未来を創造する上で、極めて重要です。

真庭SDGs

パートナー企業・取組み紹介

■ はじめに ～SDGsとは?～

SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略で、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までの15年間で達成するために掲げた「世界共通の17個の目標」です。SDGs未来杜市・真庭市ではこの取組みを市政運営の重要な柱と位置付け、総合計画での取組みのほか、推進組織として「真庭SDGs円卓会議」を設立し、企業・団体・個人からの参加を頂いています。

このページでは、管内事業者の皆さまがSDGsに取組むきっかけやヒントとなるよう、真庭SDGsパートナー(※)となっている管内事業者の取組みを紹介していきます。

■ 紹介企業



(株)作和一級建築士事務所

【所在地】岡山県真庭市中 313-8 さわビル 202

【事業内容】建築物の設計、工事監理、調査
耐震診断、建物鑑定

【代表者】坂本 春一(代表取締役)

【代表者】石井 徳明(代表取締役)

【HP】<http://www.sawa-jimusho.co.jp/>

公共施設から住宅まで様々な建物の設計、工事監理、調査、耐震診断、建物鑑定などを行っています。建物を環境性能で評価する手法にCASBEE（建築環境総合性能評価システム）があり、環境品質が高く環境負荷が低い建物ほど性能が良くなりますが、要望に応じてCASBEE評価も自社で対応可能で、環境性能に配慮した設計を心がけています。

■ SDGs の取組紹介

SDGsが叫ばれる以前から自然素材を使用する設計を心がけています。例えば、床は桧や杉フローリング、内壁は珪藻土を塗り自然素材の持つ風合いや長所を活かした設計を行っています。真庭の設計事務所であり、木造建築物は以前から数多く設計しており、地域資源である木材を適材適所に使用し、木の魅力が感じられる設計を心がけ、今後も脱炭素化に向けて建設・運用・廃棄時に発生するCo2削減や環境性能に配慮した設計を行っています。

※ 真庭SDGsパートナーについて

SDGs未来杜市・真庭市では、自ら積極的にSDGsの達成に資する事業を展開し、また共に手を携えてSDGsの達成や普及推進に取組む企業や団体を「真庭SDGsパートナー」として募集しています。詳しくは真庭市HP「<https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/3/1092.html>」をご参考ください。



真庭市HP